

OBI 後援会・同窓会 NEWS LETTER



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル2F TEL.03-3296-1005 FAX.03-3296-4641 発行者 藤原 導夫 編集者 有田 貞一

何の為に学ぶ

OBI 後援会・同窓会 会計監査 芳賀 功 [11期生]



「もう一つの、いばらの中に種を蒔かれるとは、こういう人たちのことです。

一みことばを聞いてはいるが、世の心づかいや、富の惑わし、その他いろいろな欲望が入り込んで、みことばをふさぐので、実を結びません。」

(マルコ4:18-19)

私はOBI11期生として2004年に卒業しました。入学した当時の仲間は、立場も顔ぶれも、当然みな違いました。みことばに長けていた人もおりましたが、私の様なみことばの盲人も入学を許されました。私の目から見れば、皆さんは大変、伝道意欲に燃えて入学されたように思いました。私も伝道しなければという思いのみが、先行していたように思います。何故なら、私は某大手の電気メーカーの営業マンとしてシェアの向上、売り上げ増強、利益の追求、販売網の拡大等々、日夜奔走し真剣にいのちをかけていました。

私がいた業界は、まさにみことばにもありますように「富の惑わしと欲望」の世界です。

やがて、私の周りにいた営業マンは定年と同時に去って行きました。しかし、私の頭の中は今までの「富の惑わしと世の心遣い」に洗脳されて、霊的なものに頭の中は鈍くなっていました。50歳を迎えた忘れもしないある日、私の身にある事件が起こりました。

バブル崩壊によって起きた事件と山ほどの不良債権によって、一度は死を経験し(自殺未遂)、すべてを失い(自己破産)心砕かれました。

その後、神の憐みによって再び立ち上がることができました。そして、「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を表しなさい。」(Ⅱコリント6:20)のみことばに背中を押され、献身の志が与えられました。

当時OBIの理事をしていた佐野兄(私の命の恩人)に献身のことを相談したところ、大変喜んでくださりOBIを紹介して頂きました。

事件から11年後、2001年4月、11期生として一から聖書を学ぶためにOBIに入学を許されたのです。私のような箸にも棒にもかからないような者でも、何か神様の御用にお役に立てて頂きたく、信仰をもって決断しました。

「神は…この世の愚かな者を選び…この世の弱い者…この世

のとるに足りない者や見下されている者を選ばれました。」(1コリント1:27-28)

私のような者が今、牧師になり、開拓伝道を始めるなど、誰が想像したことでしょうか。神様のなさる業というものは、何と不思議なことでしょうか。

2006年5月7日、私の妻と息子、義姉とK兄とで開拓教会を初めました。その年の10月新会堂が与えられ、現在に至っています。唯々、栄光を主に帰すのみでした。

「見よ。その日が来る。一神である主の御告げ—その日、わたしは、この地にききんを送る。パンのききんではない。水に渴くでもない。実に、主のことばを聞くことのききんである。」(アモス8:11)

リーマンショック以来、日本はおろか、世界経済状態までも低迷し、人々の気持ちも不安と心配の中に見えるように見えます。多くの国々の政権の交代もそうした事に追い打ちをかけているように感じます。人々は平和を求め、生活の安定を願いますが、世の動きはそれに逆行する、ようにも見えます。

地震、原発の災害、地球温暖化による異常気象等々、先の見えない未来に、人々は希望を持ってないのではないのでしょうか。

今こそ、主のことばを聞くときではないのでしょうか。

このような時代だからこそ、OBIに与えられた使命の重さを思います。様々な年齢層の方々に、働く立場にある方々に学びの機会が、いつでも開かれているのです。

また卒業生にたいしても、生涯教育としての研究科の学びが備えられている事は大きな特権でもあります。

主と教会に仕える者として、学びを継続する事はとても大切な営みです。

私が仕える教会は、今年の5月で開拓10周年を迎えました。悩み、苦しみ、暗中模索をしながらの10年でした。しかし、研究科に席を置きながら学びを継続できたことは、牧会において大きな力であり恵みでした。私の場合は牧師として献身に導かれましたが、それぞれ召された立場で主に仕えるためにも、OBIでの学びの場をこれからも

積極的に活用させて頂こうではありませんか。

OBIの思い出、卒業後から現在まで

3期生 加来 国生

日本バプテスト連盟 筑紫野二日市キリスト教会 牧師

【OBI入学までのエピソード】

当時会社員だった私は、すでに夜間に学べる神学校に通っていましたが、一年間過ぎた時、諸事情により、学ぶ場所が突然変更になりました。勤務地は新宿、住まいは本八幡の私にとって、変更後の場所では神学の学びを続けることが出来なくなりました。ところが不思議なことに、義弟からOBIの紹介を受け、期間を空けずに聖書の学びを続ける道が開かれました。このような経緯がありましたので、卒業できた時には、大きな喜びとなりました。

【OBIの思い出】

OBIの授業で特に印象に残っているのは、新約概論(担当 故 増田誉雄先生)の学びです。毎時間の授業の初めに、新約聖書27巻を順番に、例えば今週はマタイによる福音書、次の週はマルコによる福音書というように、出席者全員に「この書の、どの聖句が一番好きですか?」と、問われるのです。

私はそれまで一書簡から好きな聖句を一か所選ぶということをしていなかったため、その時の緊張感は今でも忘れられない思い出となっています。今も当時のテキスト『新約聖書の概説』(ヘンリエッタ・C・ミアーズ著 山口昇訳)を時々読むと、当時のことを鮮明に思い出します。

【卒業後から現在までの近況】

その後、「神の内にいつもいると言う人は、イエスが歩まれたように自らも歩まなければなりません」(ヨハネの手紙第一2章6節)を通して、献身、召命の思いが強く与えられました。

会社を退職し、2000年に西南学院大学神学部に入學、2003年に卒業し、現在の教会から招聘を受け14年に至っています。数年ごとではありますが、牧会と並行して九州バプテスト神学校(夜間)で、妻と共に「教会音楽」の授業を担当させていただいています。このような歩みは神さまの導きなしには、あり得なかったと

思います。OBIに通っていた当時、自分のことだけで精一杯でしたが、今振り返ると、諸先生方はご多用な中、十分な準備をして私たちに教えてくださっていた、その熱い思いに、感謝で一杯です。

これからも、OBIの尊い御働きが、神さまの豊かな祝福へと導かれますようにお祈りしています。

主にありて



小淵沢での近況

15期生 加茂 康一

小淵沢での生活が、早いもので4年半になりました。庭の半分に花を植え、半分に野菜などを植えています。畑仕事は全くの素人ですが、近所の方に親切に教えてもらって、じゃがいも、ねぎ、トマトやきゅうりを植えて収穫の喜びを味わっています。



小淵沢での静けさにも馴染んできました。田舎生活はのんびりしているように思われがちですが、私たちに東京での生活よりずっと忙しく感じています。それは庭や畑仕事の他に東京などからの訪問客のおもてなしや地域の活動にも積極的に参加しているからでしょうか。

昨年6月には、半ば絶望と思われた心臓のバイパス手術を受けて一命をとりとめました。これは神様に「まだやることが残っているよ」ということを言われているように思っています。最近になってやっと体力が戻りつつありますが、まだまだ疲れやすいです。

2年前の4月から我が家で週一回、聖書の学びをしておりますが、「マルコの福音書」と「ルカ」を終えて「使徒の働き」に入りました。「ルカの福音書」の主イエスのたとえ話は難解なところがあって消化して文章にするのに苦心したところがありました。

学びは、妻と熱心に通ってきてくれる人達とに支えられて、私が一番恵みをいただいているのでしょうか。私は感謝なことに、この学びの原稿を毎週不思議な喜びを感じて書いています。主イエスの語る聖書の真理を明確に伝えることが出来るようにと祈っています。

聖日礼拝は長年、立川でご奉仕しておられた老牧師ご夫妻が、開拓された教会に通っています。私たちが行き始めたころは出席者が10名足らずでしたが、最近20名前後となり主が確かに働いておられると実感しております。



(右から2人目が筆者)

それから月一回ですが、一人住まいのご婦人の家庭訪問を牧師に同行しています。私たちの訪問をとて楽しみにしてくれますので励みになっています。その他色々なあかしなどの印刷物を教会の方々を初め、友人たちに読んでもらったりしております。

5月には長女純子を突然天に送りました。42歳で二人の高校生の母でした。賜物に恵まれ、これからを期待されていたので残念でした。子供たちが教会で楽しそうに活動しているのを見て非常に幸せだったようです。幸せな生涯とは、生きた年月の長さではなく、神とのお交わりの密度の濃さ、深さによるのではないかと畑仕事をしながら思わされております。

私はこの10月で80才になります。あれもこれもやりたいと思いながら思うように出来ないで、焦りを覚えたりすることもあります。「これは思い煩いではないか」と反省させられています。

主の十字架の恵みにあずかってからの歩みを振り返って、私もヤコブのように「きょうこの日まで、ずっと私の羊飼いであられた神。」と神を崇めることのできるような生涯を送りたい。天でイエス様にお会いしたら一言感謝したいと願っています。

プレゼントされたもの

23期生 島田 伸世

2016年の春、教会音楽総合コースの卒業生として、「教会からオルガンをプレゼントされた島田さん」と紹介されるたびに、私は身の引き締まる思いで式に出席していました。プレゼントという言葉はともかく、我が家にペダル付きの電子オルガンが与えられたのは事実です。しかし、そこに至るまでには、神様の導きが確かにありました。

私たち家族は、夫の転勤を機に、2012年の春に母教会のある兵庫県西宮市から、東京都小金井市に遣わされました。その後、他教会の礼拝に出席していましたが、2014年の夏、母教会からサポートを受けて、家で礼拝することになりました。それは、初代教会のように、弟子訓練を受けて家庭集會を立ち上げるということです。その間私は、OBIで教会音楽を学ぶ道が開かれました。ところが、卒業間近のある日、オルガンのレッスンを受け、讃美することが生活の一部となったものの、学んだオルガンを弾く機会も場所もないことに気づきました。そこで、母教会の牧師に「卒業後もオルガンの学びを続けたいです。」と相談しました。その後の母教会の対応は、素早く力強いものでした。教会員一人ひとりが、東京に遣わして始めた小さな集會にオルガンの必要を覚えて祈り始めたのです。神様は、祈りに答えられ、献金という尊い犠牲を募り、オルガンを購入せよと導かれました。つまり、オルガンをもって讃美し、礼拝のため、伝道のため、弟子づくりのために、この家庭集會で用いよという指令が下ったのです。

その責任と使命は重く、主に委ねる信仰がなければ成しえません。ですから、卒業式のときに、「オルガンをプレゼントされた」と聞いて、信仰の試練のことと思われ、身の引き締まる思いになったのです。

「神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志をたてさせ、事を行わせてくださるのです。

(ピリピ人への手紙2章13節)」

現在、家庭礼拝の讃美に与えられたオルガンを用いています。また、母教会では、オルガン奏楽のための学び会もしばしば行われるようになりました。与えられたオルガンは、讃美のいけにえを捧げるまことの礼拝者を産みだし、育てるために用いられ始めています。OBIの卒業を機に神様からプレゼントをされたのは、オルガンではなく、主のからだを建て上げるために、実を結ぶ働きがこの地から起こされることを見る喜びです。



2016年度 OBI後援会・同窓会総会報告

表記総会が下記要領にて開催されました。

日 時：2016年5月16日(月) 午前11時～午後2時

場 所：OCC 508号室

招待者：藤原 導夫学院長、福井 誠教務主任

出席者：23名

会はⅠ部とⅡ部に分けられ、Ⅰ部は総会、Ⅱ部は愛餐会でした。

Ⅰ部の総会は、賛美、祈り、有田会長挨拶の後、藤原学院長が Iコリント10：31からOBIの目的について奨励をしてくださいました。

「OBIの目的の第1は、神の良き働き人が育てられ、巣立って行くこと。そしてOBIのあらゆる営みは、すべて神様の栄光のためである」と熱く語ってくださいました。

続いて福井教務主任よりOBIの現況・近況報告がありました。2015年度の登録者数は、音楽科を含め前期70名、後期67名とのことでした。

また、継続研究コースの登録者数は前期18名、後期12名でした。

この後、議題の審議に入り、規約一部改正と役員一部交代、会計報告、活動報告、2016年度活動方針、研修旅行についての説明があり、質疑応答後、全員の承認を頂きました。

なお、規約の改正点と交代役員名は以下の通りです。

● 規約改正：

規約5. 組織の(4) 会計4名を3名に、(主担当1名、担当3名を2名に)。

規約9. 会議の(3) 定例役員会 年3回を年3回程度に。

● 交代役員：

会計主担当 石井 由紀姉 退任。奥津 晃兄 新任。

会計担当 鬼京 由紀子姉 退任。

(奥津 榮子姉、永澤 良子姉は留任)

Ⅱ部の愛餐会は屋食を頂きながら、出席された方々それぞれの近況や、祈りの課題についてのお話を伺いました。

特に祈りの課題については、所属教会の課題、家庭のこと、健康のことなど、様々な課題が出されました。

主にある兄弟姉妹としてお互いに覚えて祈らなければと思われました。

後援会と同窓会が統合しての最初の総会でしたが、統合して1年が経過していたこともあり、特にこれと言った支障もなくスムーズに会を終了いたしました。感謝。

OBI後援会・同窓会 2015年度決算報告および2016年度予算（案）

収入	項目	単位：円		
		2015年度予算	2015年度実績	2016年度予算
	維持献金	750,000	796,000	1,200,000
	同窓会費	170,000	204,000	200,000
	任意献金	400,000	112,000	100,000
	総会会費	40,000	40,500	40,000
	雑収入	0	2,546	0
	小計	1,360,000	1,155,046	1,540,000
	繰越金	516,954	516,954	285,186
	合計	1,876,954	1,672,000	1,825,186

*維持献金は、正会員（卒業生）、賛助会員（個人または団体）による献金（毎月自動引落とし）
 *同窓会費は、正会員（卒業生）による同窓会費（3,000円／人・年）
 *任意献金は、正会員（卒業生）、賛助会員（個人または団体）による任意献金
 *総会会費は、総会の参加費
 *雑収入は、預金の利息等

*繰越金516,954円は昨年度決算報告時の繰越金514,084円に記帳漏れ2,870円を加えた額である。

支出	項目	単位：円		
		2015年度予算	2015年度実績	2016年度予算
	事務・消耗品費	20,000	15,359	5,000
	印刷費	200,000	73,492	130,000
	通信費	70,000	50,668	50,000
	後援会・同窓会活動費	200,000	161,781	150,000
	OBI協力献金	1,100,000	1,000,000	1,200,000
	旧後援会諸経費	0	65,514	0
	雑費	20,000	20,000	5,000
	小計	1,610,000	1,386,814	1,540,000
	繰越金	266,954	285,186	285,186
	合計	1,876,954	1,672,000	1,825,186

*事務・消耗品費は、物品の購入費、コピー代等
 *印刷費は、印刷会社に支払うニュースレター・はがきの印刷代
 *通信費は、郵便局に支払う郵便・はがき代、及び振替手数料
 *後援会・同窓会活動費は、総会や役員会等における活動費等
 *旧後援会諸経費は、2015/4/1-6/8の間の活動費（事務引継ぎ期間）

献金者名

正会員（敬称略）
 有田貞一 有田美栄子 飯島多稼夫 猪狩友行 石塚幸子 石井由紀 梅澤近子 奥津晃 小野澤恵子
 加茂康一 倉内一壽 鬼宮由紀子 窪井節子 小林喜久男 木下順子 杉山礼子 鈴木芳宜 佐藤敬
 田中恵子 田畑勝敏 戸川信生 中島總一郎 中村良子 永澤良子 芳賀功 日名富子 平松康一
 藤原導夫 三浦喜代子 宮内芳枝 町田恵子 森本腹 三友庸子 脇坂勇 島田裕子 阿部幸平
 飯田みか 糸満ミユキ 井上春代 今村冬生 内田光子 梅木澄子 江藤博久 奥津榮子 尾原光彦
 国東恵子 窪田淳子 倉沢薫代 小林直子 小宮明子 須子都 関口悦子 天海和彦 永井みよ子
 浪井弘子 東利雄 平田仁美 福井ちよ 堀口容子 牧野三恵 黛藤夫 宮内芳枝 門馬正衛
 山口松子 山本しづか 横田孝子 吉田和子 吉村瑠美子 依田和子 米田由紀子
 賛助会員（敬称略）
 植木朋子 坂本二郎 金本悟 世良田湧侍 福井誠 松本逸子
 神田正吾 古淵キリスト教会 経堂めぐみ教会

会計報告

皆様のご協力を感謝いたします。複数回、献金協力をくださった兄弟もおられ、ありがとうございました。

監査報告

上記の結果、会計監査を行いました。
 記載内容は間違いなく正しく示していることを認めます。
 2016年4月18日 会計監査

牙賀功

討 報

前学院長 世良田湧侍先生は、去る6月23日早朝ご自宅にて急逝されました。

6月25日午前11時より、古淵キリスト教会(有田貞一牧師)において有田牧師の司式により近親者のみにて葬儀を執り行いました。

なお、「故世良田湧侍先生を偲ぶ会」が11月7日(月)午後2時～3時半、OCC8階チャペルにて持たれます。

お知らせ

■ OBI後援会・同窓会主催の研修旅行が10月24日～26日の日程で行われます。

旅行目的は世界遺産候補の長崎県上五島の教会群見学です。参加者は21名です。

全行程の上に主のお守りがありますようお願いいたします。

■ 昨年大好評であった「OBI秋のコンサート」、今年もあります。

11月12日(土)午後2時(開場午後1時半)、OCC8階チャペルを会場に、バリトン歌手 加賀清孝氏とピアニストのお嬢さん加賀都喜乃さんの演奏会です。

維持献金協力をお願い

後援会、同窓会統合前は、OBIサポートを目的に後援会が維持献金者を募り活動してまいりましたが、後援会、同窓会が統合したことにより後援会の働きを新組織が引き継ぎ、同時に 同窓会員、賛助会員に維持献金への参加を呼びかけてまいりました。

皆様方のご理解ご協力を頂き、維持献金者が増えてきております。感謝いたします。

私たちの目標は、OBI後援会・同窓会からのサポートでOBIが自立できることです。

そのためには、更に維持献金者が増えて行く必要があります。

ぜひ、一か月一口千円(複数口可能です)の維持献金にご参加くださるようお願いいたします。

献金方法については、OBI事務局(TEL. 03-3296-1005 FAX. 03-3296-4641)までご連絡ください。

編集後記

OBI後援会・同窓会ニュースレターとして3号目を発行出来ますこと感謝いたします。

後援会と同窓会が統合して最初の総会が5月に開かれました。総会に於いて新組織の活動方針が決められ、役員も紹介され、着々と基礎固めがされております。

今号にはその総会の報告、統合後の会計報告を掲載しております。その他、巻頭言は新組織の会計監査である芳賀功師に書いていただきました。

また、遠方に居られる同窓生のことを知らせて欲しいとのご意見もあり、今回は九州に居られる加来国生師、信州に居を移された加茂康一兄に原稿をお願いいたしました。

今年音楽科を卒業され、新組織の食事執事の役を引き受けて下さった島田伸世姉も証しを書いて下さいました。

今回原稿を寄せてくださる方には、近況写真もお願いいたしました。特に加茂兄はプロとして甲斐駒ヶ岳の写真も送って下さいました。皆様のご協力を感謝いたします。

新組織の目的は同窓生を始めOBIを愛する方々が一丸となってOBIをサポートして行くことです。そのために皆様お互いの絆を深めることが必要と思います。

その働きのためにニュースレターの役目は大切です。

このニュースレターを共に作り上げて行く気持ちを持って読んでいただきたいと思います。具体的には、ご意見、証し、近況報告等、積極的に投稿していただくことです。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

(戸川)